

■ 2026年度 事業計画 社会福祉法人なないろ（法人）

はじめに	今回の法人理事長選任手続のタイミングで、理事長の新旧交代を評議員会の決議と理事会の承認を得て実施の方向で進める。新しい法人執行体制を目指す。今年の1年間は、そのための引継ぎ準備期間として位置付けていく。2027年6月より、新しい理事長による、社会福祉法人なないろの、運営体制をスタートさせていく方向で調整をしていく。
法人の理念	・利用者が主人公の支援。 ・働くことを大切にする日中活動 ・地域に理解してもらい、地域に根差した活動を進める
法人の基本方針	1) (利用者) 本人の思いと笑顔を大切に、みんなから尊敬され、自分の人生の主人公となるよう支えていきます。 2) ライフステージに応じて、障がいの種類・重さにかかわらず、自立した自分らしい生活を営めるよう支えます。 3) 自らが、自己肯定感を持てる社会、環境、地域、制度を作るためにも、一人ひとりを大切にした支援の実践に心がけます。 4) 働くことを通じて、自己の作り出した製品への自信と誇りを持ち、人から喜ばれる製品の販売を通じて、人や地域とのつながりを広げて行きます。 5) 障がいがあっても地域であたりまえの暮らしができる地域づくりを目指します。 6) 一人の生活者として、自分の生活を自分の意思で選択・決定し、築けるような環境の創出と調整を計ります。
事業運営	1) 第2種社会福祉事業 生活介護（定員20名）トライの運営 （定員20名）長沢ベーカーリーの運営 2) 第2種社会福祉事業 共同生活援助（定員6名）ほっと・ホット （定員4名）にじいろのパレット （定員4名）にじいろの奏の運営 3) 第2種社会福祉事業 居宅介護 ほっと・ピアの運営 4) 第2種社会福祉事業 重度訪問介護 ほっと・ピアの運営 5) 第2種社会福祉事業 移動支援事業 ほっと・ピアの運営 6) 第2種社会福祉事業 相談支援事業 なないろ相談支援事業所 （計画相談、一般相談）（児童相談）の運営 7) 公益事業 福祉有償運送事業 ほっと・ピアの運営
本年度の展開	1) 業務執行理事の元、今まで築いてきた実績の上に、新たな職員管理・運営体制を構築し、利用者支援体制の充実を進めます。 2) 法人管理者業務管轄範囲を明確にし、法人組織体制の円滑化を図っていきます。 3) ホット、ピア等の建物については、NPO法人横須賀の福祉を推める会より、債権引

	き受けに基づく借地権付き建物の移譲を、令和 8 年 4 月 1 日付で受けることになった。それに伴い定款や基本財産等の書類変更手続きを進めます。 4) 利用者さん本人が、生活・活動の主人公になっているか等の確認と共に、その目標に添った支援が行われているかの検証を進めて行きます。(虐待防止委員会) ・定期的な会議を通して支援の在り方についての虐待防止委員会での論議を活動に活かす。(呼称、声掛け、気持ちの受止めなど) ・従来の支援の在り方について、各部署の個別支援計画を参考にしながら現実的なニーズを再確認し、実施していく。 ・委員会での決定事項や会議内容を全職員への法人全体会議を委員を通して周知していく。(虐待防止委員会) 5) 職員の次代育成を図る。(育成を踏まえた法人内異動と責任の分担) ・常勤職員の資格要件が満たされたら、速やかにサービス管理責任者講習の受講を促していく。 ・積極的に初任者講習や実務者講習、介護福祉士の資格取得を進めて行く。 6) 災害時に対しての災害時物品、食料等の確保・ローテーションの準備・充実。(BCP 委員会)(重点項目) ・非常食のローテーション備蓄・点検(賞味期限等)や非常用備品の確認・点検(使い方、使用可能か等)(秋の避難訓練時) ・BCP の見直し、修正作業を行う。 (法人及び、各部署間の連携の確認) ・BCP 訓練・研修の実施。 ・連絡網、体制の確認。ご家庭の避難場所、非常時の連絡方法など。各利用者の個別避難計画の検討。	
各事業の推進	1) 日中活動部門(生活介護) ① Haccp の考え方に沿った食品衛生管理・表示の徹底。 (購入してくれる方が、リピーターとなってくれる商品づくり。作製した本人が胸を張れる製品づくり) ② 本人にわかりやすい「個別支援計画」の作成。 (本人のニーズ把握と合意に基づく個別支援計画)	

トライ（重点項目）

- ・HACCP 点検項目をチェックシートによる確認の徹底、販売の方法や実際の製品作成に活かしていく。
- ・「個別支援計画」のアセスメント、事前会議の在り方、本人への説明方法を見直し、より本人のニーズを充足させていく。
- ・トライⅠ・Ⅱ職員、利用者の交流など、同じ事業所としての共同活動の幅を拡げ更なる充足を目指す。

長沢ベーカリー（重点項目）

- ・日常生活支援に加え、パン製造、販売などを通し働くことの充実感を感じてもらえるよう取り組んでいく。
- ・パン作業以外にも季節の行事や外出活動などを計画し、楽しめる場面を提供する。
- ・ご自宅でも事業所においても落ち着いた生活ができるよう支援を行っていき、移動支援、短期入所などを利用しているメンバーも多く、密に情報交換を行いながら互いの場所で安心して過ごせるようネットワークを作っていく。

2) 生活（くらし）部門（グループホーム）

- ① グループホーム土日開所の拡大。
- ② グループホーム旅行や合同行事の検討と実施。
- ③ 利用者の傷病による残留対応や病院受診等の体制整備。
- ④ 身体面での機能・筋力の現状維持を目指した、機能訓練等を行う訪問マッサージ実施・継続。

ほっと・ホット（重点項目）

- ・避難訓練の徹底。
- ・地域での交流を心掛けて、ネットワークを形成していく。
- ・数年先を考え利用者さん、ご家族の環境・状況を捉え、支援体制を構築していく。
- ・利用者さんも年を重ねてきているので、健康にも注意して穏やかに暮らせる生活を心掛ける。

にじいろのパレット、奏（重点項目）

- ・2026年度より、パレットは隔週で土曜日開所を始め365日24時間の体制を目指していく。
- ・自然災害などに備え、避難訓練や緊急時の対応を強化のものとしていく。
- ・地域連携を構築していけるように積極的に、地域住民の方とコミュニケーションを広げていき、開かれたグループホームを心掛ける。
- ・祭日などの、余暇活動の内容を1日のんびり過ごす事から転換していく。

3) 地域支援部門（居宅介護・移動支援・福祉有償運送）

- ① 実施詳細内規・規約の整理に努める。
- ② 緊急連絡体制（緊急携帯等）（ライン連絡網）の確認と整備。
- ③ 車輦走行時の安全運転に心がける。（ドライブレコーダー等を通した運転状況の確認や安全運転講習会やアルコールチェックの実施）

ホット・ピア（移動支援）（重点項目）

- ・ヘルパー人材の拡充。
- ・利用者支援提供状況の確認。
- ・緊急時対応の確認。（BCP含む）

ほっと・ピア（居宅介護）（重点項目）

- ・ニーズを大切にしたい個別支援計画の作成やその支援の提供。
- ・利用者主体の支援の提供。
- ・緊急時対応の確認。（BCP含む）
- ・各種研修・訓練の実施。

福祉有償運送（重点目標）

- ・ドライバー研修の実施。（年1回）
- ・毎回乗車の車両点検や月に1回のエンジンルーム点検等の確実な実施。
- ・アルコールチェッカーを使用した、毎回の乗車前チェックの実施。
- ・安全運転の実施。（必要に応じたドライブレコーダーでのチェック）

4) 相談支援部門（重点目標）

- ① 複数事業所による協働モデルへの参画。
 - ② 各対象利用者の必要に応じた担当者会議の開催。
 - ③ 相談事業報酬の加算請求項目の検討と書類の整備。
 - ④ 相談員3人体制での、相談支援の実際的な展開を目指す。
- ・採算が取れる相談支援事業を目指す。（R8年度から、相談事業も処

	遇改善の対象事業所となった。)(協働モデルへの参画) ・利用者を中心とした、各事業所とのネットワーク形成の構築。
その他	1) 事業運営透明性の担保 ① 年4回のニュースレターの発刊、ホームページの積極的な利用とデーター更新。 2) 利用者、家族、職員等の合同企画の実施 ① なないろ祭の実施。(移動支援・相談対象者にも拡大) 3) 地域避難訓練等町内会行事への参加やグループホームの地域連携推進会議の開催、バザー等を通じて、地域と連携を取りながら、地域のニーズにも応じられる体制を築いていく。